

令和8年 南砺市議会定例会

令和8年6月会議における
市長提案理由の説明要旨

令和8年6月4日

提案理由の説明

(令和8年6月会議)

はじめに

令和8年6月会議の開会にあたり、提案理由の説明に入ります前に、最近の情勢や市政に対する所信の一端を申し述べ、議員の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

最近の諸情勢について

はじめに、最近の諸情勢について申し上げます。

本年の北陸地方の梅雨入りは、平年より遅く6月下旬になるのではないかと予想されています。今週の初めから、台風6号が日本列島の太平洋側を通過し、河川の氾濫などが生じた自治体もありました。本市では幸い、特段の災害は発生しませんでした。これから雨の季節を迎えるに当たり、しっかり備えをしていかなければならないとの思いを強くしているところです。

先日、気象庁から発表される防災気象情報が刷新され、運用が開始されました。大雨や土砂災害などの警報・注意報について5段階の「警戒レベル」が明記されるほか、これまでの警戒レベル4相当の情報として、「警報」と「特別警報」の間に「危険警報」が使われるようになるなど、避難行動の判断をよりしやすくするための改正となっています。このことについては、市の広報5月号でお知らせしておりますので、市民の皆様には避難のタイミングなどを確認する一助としていただきたいと思います。

市内では、4月には40メートルを超える暴風が吹き荒れ、各地で多数の被害が生じました。災害はいつ起きるか分かりません。万が一の場合を考え、市民の皆様にも日頃からの備えをお願いしたいと考えております。

次に、経済状況に目を転じますと、本年2月以降の中東情勢緊迫化は、国内経済に大きな影響を与えております。市に対しても、重油や建設資材、医療・衛生用品の確保についての不安の声が届いているところです。

高市総理大臣は先月の会見において、中東情勢を踏まえた「リスク最少化」の観点から3兆円規模の補正予算を編成することを表明し、昨日付で当該予算案が国会に提出されました。今後、速やかに審議、可決されるものと注視しているところです。

この補正予算には、特別高圧電力やLPガスの利用者への支援などを念頭に、重点支援地方交付金の追加措置が含まれるものとされています。市としては、既に本年度予算において物価高騰対応事業を盛り込んでおりますが、その早期執行と合わせ、今回の国の補正予算の内容を見極めたうえで、必要に応じ素早く施策に反映すべく適切に対応してまいります。

市政全般について

さて、現在、官民連携事業として誘致を進めておりますデータセンターについては、先月、運営事業者が1社に絞られたと、開発事業者から報告がありました。今後は、契約に向けての条件等を詳細に詰めていくこととなります。

一方で、そもそもデータセンターがどのような施設なのか、その誘致が市にとってどのような効果をもたらすのかなど、事業の内容について、

市民の皆様には必ずしも十分なお理解をいただいていない面もあると認識しております。今後一層、分かりやすい情報提供に努めながら、引き続き丁寧な説明の場を設けてまいりたいと考えております。

また、もう一つの重要課題である市立2病院の再編につきましては、先月8日、14日の2回にわたり、福光と井波の両地域において住民説明会を開催いたしました。

市の広報誌においては、本年2月号から4月号まで3回にわたる特集記事を掲載し、広く市民の皆様には市の考えをお示ししてきたところですが、改めて、市立2病院、さらには砺波医療圏全体の置かれた現状と、将来目指すべき地域医療の姿について、直接ご説明し、ご意見を頂く機会として実施したものです。

その結果、両会場で延べ255人のご参加をいただき、改めて、市民の皆様の関心の高さを実感したところです。参加された方からは、再編の必要性に理解を示すご意見をいただく一方で、集約先に関する疑問や病院間における交通アクセスの確保など身近な医療体制が変わることへの不安の声も寄せられました。

これらを真摯に受け止め、市議会特別委員会において、さらに議論を深めるとともに、不安を解消するための施策の検討や積極的な情報提供に努め、地域医療を未来につないでいくための医療提供体制の実現に向けて、着実に進めてまいりたいと考えております。

それでは、提案しました議案につきまして、提案理由とその概要をご説明いたします。

令和8年度補正予算

議案第44号から第47号までは、4件の補正予算を調製し、議会の議決を求めるものであります。

議案第44号の令和8年度南砺市一般会計補正予算（第1号）は、国・県等補助内示に係る事業、新規事業、事業の中間調整や施設・機器の緊急修繕事業等を補正予算として計上しております。

まず、国・県等補助内示に係る事業では、避難所の生活環境改善に必要な簡易ベッドやパーテーション、発電機、スポットクーラー等の資機材を購入するため、避難所環境改善事業として、災害対策費に5,343万7千円を計上しております。

次に、新規事業につきましては、データセンターの誘致に伴うインフラ整備事業費として、道路新設改良費に3,685万円、水道事業会計繰出金に2億1,095万5千円を計上しております。また、福光地域統合中学校整備に係る設計委託費として、中学校施設整備費に1,320万円を計上しております。

次に、事業の中間調整にかかる事業の主なものとしては、過年度に実施した子ども・子育て関連事業の実績に基づく国県交付金等の精算金として、放課後児童クラブ費に1,022万4千円を計上しております。

次に、施設・機器の緊急修繕事業の主なものとして、4月の暴風被害に係る施設の修繕に係るもののほか、スキー場管理費に、シーズン終了後の圧雪車修繕料として3,985万1千円、消融雪装置管理費に、冬季間に生じた不具合の修繕料として2,250万4千円を計上しております。

以上のことから、今回の補正総額は、6億7,527万1千円となり、この結果、令和8年度一般会計予算の累計額は、367億2,527万1千円となります。

これら補正予算の財源は、国県支出金1億1,467万9千円、市債1億

4,520万円、その他の特定財源2,426万8千円を充て、なおも不足する一般財源3億9,112万4千円は、財政調整基金を取り崩して対応いたします。

議案第45号の令和8年度南砺市病院事業会計補正予算（第1号）では、資本的支出において、南砺市民病院の南棟エレベータ部品更新費用として653万1千円を計上しております。

議案第46号の令和8年度南砺市水道事業会計補正予算（第1号）は、資本的支出において、社会資本整備総合交付金の減額内示に伴う8,110万7千円の事業費減額を計上したほか、データセンターの誘致に伴う水道施設の整備費として2億1,095万5千円を計上しております。

議案第47号の令和8年度南砺市下水道事業会計補正予算（第1号）は、収益的支出においては、ポンプの修繕費として283万6千円を計上し、資本的支出においては、宅地造成工事に伴う下水道施設整備費として2,592万7千円を計上しております。

条例その他

条例議案では、全部改正が議案第48号の南砺市企業立地振興条例の全部改正についての1件、一部改正が議案第49号の南砺市市民センター設置条例の一部改正についてなど6件を提出しております。

その他の議案としましては、予定価格2千万円以上の財産の取得につきまして、議案第55号の財産の取得についてなど5件を提出しております。

報告につきましては、報告第4号の令和7年度南砺市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告についてなど9件を提出しております。

以上、本会議に提出いたしました議案について提案理由を説明いたしました
ましたが、慎重ご審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。